



ふきのとう便り

～一人はみんなのために みんなは一人のために～

2013年4月1日発行 NO. 15

社会福祉法人 ふきのとう TEL 0743-67-1099

天理市柳本町 2036 番地 HP <http://www.fukinotou.or.jp>

e-mail fukinotou1099@rondo.ocn.ne.jp 編集責任者 植田 豊

人間としての基本的権利を求めて

理事長 松田 勝義



1945年終戦後間もなくしてから1950年代半ば頃まで、戦争で負傷した人々が白衣をまとい全国各地で募金活動を展開している場面をよく見ました。

彼らは、天皇陛下のため、お国のためという軍国主義のもとに侵略戦争に駆り出され、そして戦地での戦いのなかで負傷を負い、命からがら帰国した人々であります。この人達の帰国後の生活の保障問題について、全国の傷痍軍人が立ち上がり、国に対して生活の保障を訴えて全国的に運動を繰り広げました。

その主要な活動の一つが、白衣をまとい募金活動を通じて自分たちの趣旨を多くの人々に訴える運動でした。その結果、負傷の程度等に応じて国の保障が決まりました。

この傷痍軍人の人々の運動が、全国の体の不自由な人々、いわゆる身体障害の人々に大きな影響を与えました。これが日本での障害者運動の始まりであります。

それから現在までの道程は、幾多の困難と偏見そして生活苦のなか、基本的人権の保障の旗を高く掲げ、繰り返し繰り返し取り組んできました。そして現在も引き継がれています。

その頃、世界でも障害者問題は基本的人権の問題として浮上していました。この障害者問題は基本的人権問題

であることを明確にしたのが、1975年（昭和50）12月9日、国際連合総会において、「障害者の権利宣言」が採択されたのであります。その柱の一つに、「障害者は、その国の同年齢の市民と同等の権利を有する」この条文に勇気づけられましたが、現実には総論賛成各論云々、絵に描いた餅のようでした。

それから5年、遅々として進まない世界各国の障害者施策の動きに対し具体的に取り組むよう国連は、1980～1989年を「国連障害者の10年」と位置づけ、各国に対し障害者施策について、国の施策として10ヶ年計画を策定し取り組むよう決議したのであります。

日本国も10ヶ年計画を策定し取り組みを始めましたが、前半は低調でした。後半に入ってやっと障害者団体の積極的な取り組みによって、運動は盛り上がり、国の消極的な姿勢を打ち破り様々な要求の前進を生みだしました。

「完全参加と平等」「ノーマライゼーション」「施設から地域へ」などのキーワード的言葉も、現実味のあるものとして様々な場面で使われてきましたし、現在も使われています。

以上の歴史観は、極めて一面的ではありますが、ここで教訓にしなくてはならないのは、「国連障害者の10年」の前半と後半の動きであります。前半は低調、後半は手を取り合い、力を合わせて、立ちあがったことが大きな運動へとつながったということでもあります。つまり、社会的背景や条件が有利な情勢だからといって、何もしなければ、何も変わりません。

同じ悩みや願いを持つ者同士、手をつなぎ、力をあわせ、立ち上がること、そしてあきらめないことが、私たちの願いを実現していく力となることを、しっかりと学んでおく必要があります。

ボウリング大会

2月13日、大和郡山市トドロキボウルで、奈良県障害者スポーツ大会のボウリングが行われました。

ふきのとうから男女4人ずつ参加し、全施設で50人が参加しました。ふきのとうのメンバーは、目覚ましい活躍をし、男子で金と銀、女子で金と銅の素晴らしい成績を収めました。



部門紹介 就労継続B型事業



乾 雅子

B型事業は、主に菓子製造と外部の清掃を行っています。



菓子製造は、ふきのとうで一番人気のあるシフォンケーキを主力商品に、焼き菓子を中心に作っています。衛生面には特に気をつけて取り組んでいます。販売でどれだけ売れたか気にしながら売ったら喜んで、売れなかった時は一緒に悩み次回どうしたらいいかみんなで考え取り組んでいます。

外部の清掃では、病院の外来棟、入院棟、公園トイレの清掃やダム公園等の清掃を行っています。朝早くから取り組み、一生懸命スタッフ・メンバー共に協力しあいゴミ拾い、モップ磨き、窓ふきなど行っています。落ち葉の季節はとっても大変で体力

も使います。とても大変ですが工賃のために頑張っています。給料日はみんな朝からうきうきで「今日は給料日！」と笑顔で言いに来てくれます。安定的な工賃をみんながもらえるようスタッフも一丸となって取り組みたいと思います。



こんなことをしています！



12/25 クリスマス会



1/5 いざなぎ神社初詣

何を祈ったのかな？



1/30 宇陀アニマルパーク
首を長くして食事の順番を待っています



2/5 節分
豆まきが面白かった！



ケアホームスパークル建設一周年

スパークルは、バス・トイレ・冷蔵庫・IH付のプライバシーに配慮した個室型かつ自立型、そして地域にどこで生活できるケアホームを目指して建設されました。早いもので、3月で完成して1年になります。

風呂の順番のトラブルがなくなった。プライバシーが守られ、落ち着いた生活が来ている。意欲が高まり、一般就労を始めたり弁当を作ったりより自立した人がでてきた。家族と常に一緒だった人が、ウィークデイはケアホーム、週末は家に帰り家族とよい関係を築き、風呂で補助を受けながら身体や髪を洗い、清潔を保てるようになったなどの良くなった面が出てきています。

一方、部屋の中で見えない面があり、もう少しオープンにするルールを作ったり、みんなの交流をふやすなど改善すべき面も見えてきました。これからも、少しずつ改善していきたいと考えています。

補助金で車両・火災通報装置・緊急通報装置購入！

県からの補助金でケアホーム2カ所の消防署への火災通報装置を設置し、自動車を購入をしました。また、奈良県共同募金会天理市支会からの補助金で各ケアホームからの緊急通報装置を設置しました。これからも、少しずつ施設、備品を整備していきます。